



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。
鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった研修生をあたたくご支援ください。

SEADSのホームページは
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。

市内で営農する修了生を訪ねました

10月30日(月)、本市で新規就農している
SEADSの先輩を訪ねました。実際の圃場や営
農品目、自らの大切にしていることなどをインタ
ビューしました。

先輩からは「自分は果樹に携わらないだろうと
思っていたが、雇用先に柿とさくらんぼがあり苦
労している。講義は全てしっかりと聞くように」
と助言があり在校生は深くうなずいていました。



(修了生が所有するハウスで話を聞く)

ぼかし肥料づくりが始まりました

11月上旬から恒例のぼかし肥料作りが始まりま
した。SEADSの冬場の研修として土着の種菌
を採取して培養するところから始めます。

地域の米糠をメインに、班ごとにオリジナルの
ぼかし肥料を作ります。作業は年明けまで続き、
農場での野菜栽培に使われます。



(ぼかし肥料の種となる土着菌を培養する)

果樹の授業が行われました

11月9日(木)に2年生を対象に、山形県庄内総
合支庁の農業技術普及課産地研究室の職員をお招
きして、果樹の講義が行われました。

研究室で育てている果樹の生育の特徴や、剪定
ミスを想定した試験区の収穫量の変化などについ
て学びました。また、試験区で収穫した柿や梨を
試食し、品種ごとの食味の違いを体験しました。



(試食した果物)

研修風景



(SEADS農場: 収穫したパプリカ)



(SEADS農場: 大根の収穫)



(座学: 土壌学)



(SEADS農場: 干し柿作り)